

# kaise

## サーモグラフィーカメラ

### KG-505

#### 取扱説明書(保証書付)

### カイセ株式会社



このたびは、サーモグラフィーカメラKG-505をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の十分な活用と安全なご使用のために、取扱説明書はいつも手元におき、よくお読みいただいたうえでご使用ください。

### 安全上・使用上のご注意(必ずお守りください)

取扱説明書には、お使いになる人や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の絵表示で区分し、説明しています。

- 警告** この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
- 注意** この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

### 警告/注意

- 小さいお子様の手の届かない場所で使用、保管する。
- 付属のケースに入れて保管する。
- 本体から電解液が漏出している場合や異臭がする時には直ちに火気より遠ざけて使用を中止する。
- 本体から電解液が漏出している場合は、直接触れない。万一皮膚に付着または目に入った時は、こすらずに水道水などのきれいな水で充分洗った後、直ちに医師の診察を受ける。
- 本製品に異常を感じたら、直ちに使用を中止する。
- 万が一、本製品が発火した場合は消火器を使って消火する。
- 本体を濡らしたり、手などがぬれた状態で本製品を使用しない。
- ガソリン・オイル・ガスなど可燃物の周辺や法令で第一類・第二類危険箇所に指定されている場所では使用しない。
- 可燃物や重量物を乗せたり、毛布や座布団で覆ったり包んだりしない。
- 故障のまま使用したり、分解や改造はしない。
- 端子類を指で触れたり異物を入れない。
- 直射日光が当たる場所や、夏季の車内など気温45℃を超える環境および湿度85%を超える環境で保管しない。
- 加熱したり、ストーブなど熱源に近づけたり、火や水の中に入れない。
- USBケーブルの被覆が破れた状態で使用しない。
- USBケーブルを束ねたまま使用しない。
- 付属品以外のUSBケーブルを使用しない。
- 本製品付属品を本製品以外に使用しない。
- 本体および付属品を落下させたり、衝撃を与えない。
- 電子レンジや高压容器に入れない。
- ペットなどの動物に本製品を触れさせない。
- 本体を充電する際は、当社指定の充電条件を守り、充電完了後は、すみやかにACアダプタを外す。
- 本体の充電は温度が0~45℃の環境で行う。
- 本体の充電が完了したら、USBケーブルとの接続を解除する。
- 本体の充電は付属のUSB ACアダプターとUSBケーブルを使用する。
- 使用時および充電時に、たばこなどの火気を近づけない。
- 使用時および充電時、付近に可燃物を置かない。
- 満充電の状態での充電をしない。
- 屋外で本体の充電をしない。
- 本体内蔵バッテリーを分解したり改造したりしない。
- 本体内蔵バッテリーを本製品以外で放電させない。

### 注意

- アルコールを含む液体で本製品をふかない。
- 気温0℃~45℃、湿度85%以下の環境で使用。

- 高い電磁環境に近づけない。
- 長期間使用しない場合は、2ヶ月ごとに充電を行う。
- 本体内蔵バッテリーは使用方法や保管方法によっては、著しく劣化する場合があるため、劣化による不具合は、保障の対象外。
- ホコリの多い場所、水のかかるところ、強い衝撃が加わるところ、気温-10℃以下45℃以上・湿度85%以上のところ、結露のあるところ、直射日光のあたるところでは保管しない。
- 太陽や高熱を有する放射物に本体やレンズをさらさない。(故障の恐れあり)
- 本体内蔵のリチウムイオンバッテリーの廃棄は、自治体の条例に従って廃棄処分する。
- レンズをクリーニングする際は、やわらかい布などでふく。(赤外線レンズは表面コーティング損傷の恐れがあるのでふきすぎない)

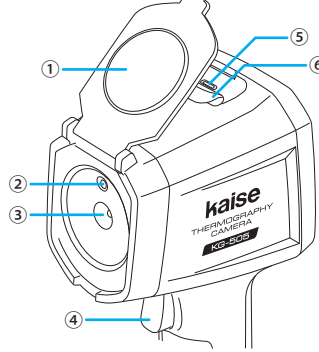
### 構成部品一覧表(ご使用前にご確認ください)

本製品には、下記のものと同梱されています。ご使用前にご確認ください。万一不足している場合や破損している場合は、すぐに販売店にご連絡ください。

- ①本体 1台
- ②キャリングケース(1043) 1個
- ③USBケーブル(912) 1本
- ④USB ACアダプター(907) 1個
- ⑤取扱説明書 1セット

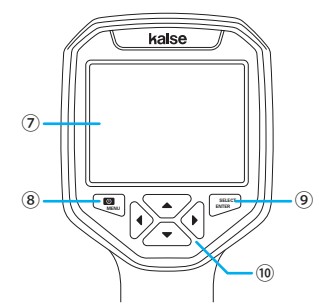
### 本体各部の名称と働き

#### ■レンズ側



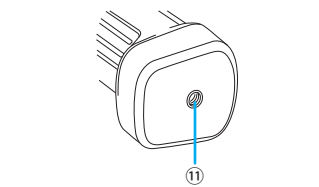
- ①レンズキャップ
- ②可視レンズ
- ③赤外線レンズ
- ④キャプチャーキー：
  - 画像保存する際と、画像保存時に「はい」を選択する際に押します。
- ⑤USB端子(ゴムカバー内)：
  - 本体を充電する際に付属のUSBケーブルを接続します。
  - PC接続する際に付属のUSBケーブルを接続します。
- ⑥ゴムカバー
- ⑦ディスプレイ(LCD)

#### ■ディスプレイ側



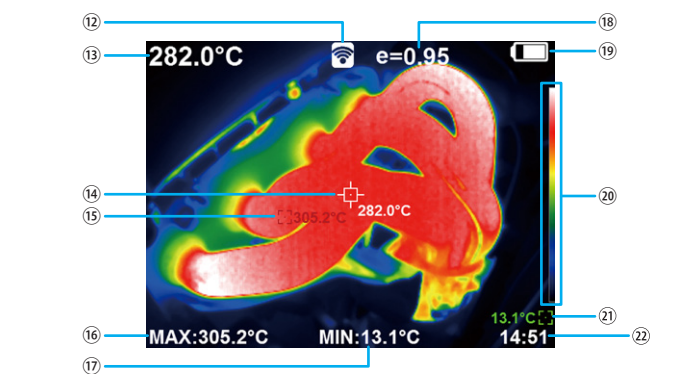
- ⑧電源 / メニューキー：
  - 電源OFF時に5秒間長押しすると電源ON、電源ON時に3秒間長押しすると電源がOFFになります。
  - メニューの一覧を表示 / 非表示します。
- ⑨セレクト / エンターキー：
  - メニュー項目などの決定時に押します。
  - メニューの画像ブレンド画面から測定画面に戻ります。
  - メニューの保存画像表示から保存画像一覧に戻ります。
- ⑩十字キー(上下左右キー)：
  - メニュー項目などの選択に使用します。

#### ■底部



- 右キー：メニュー項目から次の画面に進みます。
- 左キー：メニュー項目から前の画面に戻ります。
- 上キー：ディスプレイ下部の情報を表示 / 非表示にします。保存画像表示時に画像消去確認になります。
- ⑪三脚穴：市販の三脚に取り付ける際使用します。

#### ■ディスプレイ表示



- ⑫無線通信マーク(無線通信設定「あり」のときに表示) (設定は P7「無線通信」を参照)
- ⑬中心点温度(画面中心部の温度)
- ⑭中心点カーソル / 中心点温度：
  - 画面の中心部と中心部の温度
- ⑮高温点カーソル / 高温点温度(赤色)：
  - 画面内で最高温度の位置と温度
- ⑯高温点温度
- ⑰低温点温度
- ⑱本体に設定している放射率 (設定は P6「4. 放射率」を参照)
- ⑲バッテリー残量 (充電方法は P8「本体の充電」を参照)
- ⑳カラーコード(上部の色ほど高温)
- ㉑低温点カーソル / 低温点温度(緑色)：
  - 画面内で最低温度の位置と温度
- ㉒現在時刻 (設定は P6「5-5. 日時設定」を参照)

### 仕様

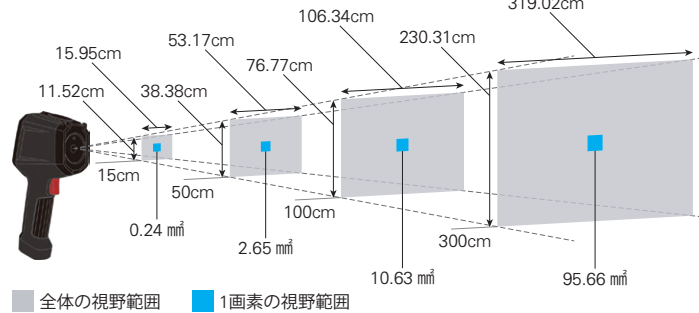
■測定仕様	
測定範囲	精度
-20℃~100℃未満	±2℃
100℃~300℃未満	±2%
300℃~360℃未満	±3%
360℃~400℃未満	±5% (ウォームアップ5分後の精度)
400℃~450℃	±15% (ウォームアップ10分後の精度)

周囲温度: 5℃~40℃ (本体温度と周囲温度の差がないものとする)  
 ※周囲温度外の精度は、左記精度に±3%または±3℃のどちらか大きい方を加算  
 ※測定範囲外の表示は精度対象外(470℃以上の温度表示はover表示)  
 ※ウォームアップ: 電源を入れて動作させている時間

#### ■一般仕様

ディスプレイ(LCD)	3.5TFTカラーLCDモジュール
赤外線解像度	320×240(76800ピクセル)
表示解像度	300000ピクセル
測定視野角(FOV)	56°×42°
最小焦点距離	0.15m(最遠距離:0.2m~)
温度分解能	0.07℃
測定範囲	-20℃ ~ 450℃
放射率	0.01~1.00(調整可能)
フレームレート	9Hz
測定波長	8~14μm
フォーカス	固定
カラーパレット	レインボー、アイアン、コールド、白黒、黒白
無線通信機能	無線通信を行い、PCや携帯端末のウェブブラウザ上で、画像表示・画像保存、各種設定変更が可能(通信距離:約30m) 技適マーク取得(認証番号: 回006-001096)、周波数帯: 2.4GHz帯
解析ソフト	本体メモリー内のソフトをWindows PCにインストールして使用(対応OS: Windows 10, 11) ※使用方法は、別紙取扱説明書を参照
三脚穴	本体下部に市販の三脚を取り付け可能(1/4インチサイズ)
表示言語	日本語、英語、中国語、イタリア語、ドイツ語
画像ブレンド機能	可視画像と熱画像の25%ステップ合成画像
画像保存	画面表示を内蔵メモリー(8G)に保存可能
画像フォーマット	JPEG
オートパワーオフ	5分/20分/なし に設定可能
USB	Micro USB2.0 Micro-B
バッテリー	リチウムイオン電池(26650電池)
連続使用時間	4~5時間(使用温度範囲内、無線通信OFF)
充電時間	約6時間(2A ACアダプター使用)
寸法・質量	約256(H)×129(W)×97mm(L)、約630g
使用温度	0 ~ 45℃
保存温度	-10℃ ~ 45℃
湿度	85%RH以下
付属品	キャリングケース(1043)、USBケーブル(912)、ACアダプター(907)、取扱説明書

#### ■測定距離と視野範囲



### 使用方法

**警告/注意** P1「安全上・使用上のご注意」の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

#### 1. 正確な測定を行うために

- 測定物の放射率がわからない場合は、黒体テープなどを貼り付け、放射率を設定したうえで測定してください。
- 本体と測定物の周囲温度が一定なところで測定をしてください。差がある場合、精度から外れることがあります。
- 高温の熱源を連続して測定すると、精度から外れることがあります。高温の熱源を測定する際は、電源を入れウォームアップが必要であれば実施した後、測定を行うときのみ本体レンズを熱源に向けて測定してください。測定が終わったら、電源をOFFにしてください。
- 測定物の温度が不明確で、測定値が360℃以上を示した場合、P3「測定仕様」記載の測定範囲におけるウォームアップを実施してから再度測定してください。(オートパワーオフは20分、またはなしに設定してください。)
- 無線通信設定が有りのときは、なしのときよりも電池が消耗します。

#### 2. 測定方法

- ①レンズキャップを開きます。
- ②「電源キー」を5秒間長押しします。電源がONになり、起動画面が表示されます。
- ③起動後、測定対象にカメラを向けて測定します。
- ④「電源キー」を3秒間長押しすると5秒間のカウントダウン後、電源がOFFになります。
- ⑤測定時以外はレンズキャップを閉じてください。
- 本体下部の三脚穴(1/4インチサイズ)に、市販の三脚を取り付け可能です。

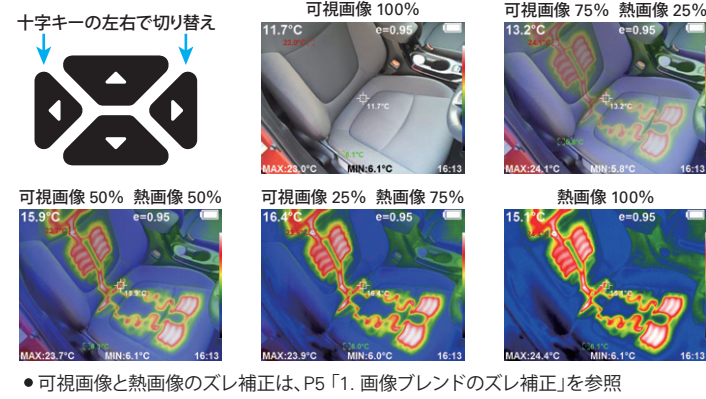
**!** 電源ON時、本体の内部動作による「カチ」という小さい音が数秒ごとに鳴りますが故障ではありません。

#### 3. 画像保存

- 画面表示を画像データとして内蔵メモリーに保存できます。
- ①測定対象を画面に表示させて「キャプチャーキー」を押します。
  - ②「画像保存? はい いいえ」と表示されます。
  - ③左右キーで「はい」または「いいえ」を選択してエンターキーを押します。
  - キャプチャーキーでも「はい」を選択できます。
  - ④画像保存が完了します。
  - 保存した画像を本体で見るとは P5「2. 保存画像の確認・消去」を参照
  - 保存した画像データをPCに移動するには P8「PC接続」を参照

#### 4. 画像ブレンド

「十字キーの左右」を押すことで、可視画像と熱画像の合成表示が可能です。合成の割合は、左右キーを押すごとに25%ステップで切り替わります。



## 品質保証書

MODEL KG-505	Serial No.
品質保証期間	購入日 年 月 日から 1 年
販売代理店および所在地	
印	

※品質保証期間中に正常な使用状態で、万一故障などが生じた場合は、裏面記載の品質保証規定により無償で修理します。製品にこの品質保証書を添えて、上記販売代理店、または直接カイセ株式会社 製造サービス課へご送付ください。  
 ※購入年月日は販売代理店が記入します。販売代理店名およびその押印なき品質保証書は無効となりますので、購入時に確認してください。

**カイセ株式会社** 〒386-0156 長野県上田市林之郷422  
 電話 0268-35-1600(代表)



## 5. ディスプレイ下部情報の表示／非表示

測定画面で「上キー」を押すと、ディスプレイ下部に表示されている情報（高温点温度、低温点温度、現在時刻）の表示／非表示を切り替えます。

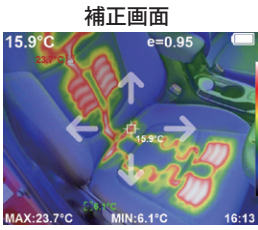
### メニュー

電源ON時に「メニューキー」を押すとメニューの一覧が表示され、画像ブレンドのズレ補正や保存画像の確認・消去、各種設定を行うことができます。

#### 1. 画像ブレンドのズレ補正

可視カメラと赤外線カメラの表示ズレを補正します。

- ①「左右キー」を押して、画像ブレンドを可視画像と熱画像の合成表示(100%以外)にします。(P4「4. 画像ブレンド」を参照)
- ②「メニューキー」を押してメニューの一覧を表示します。
- ③画像ブレンドを選択した状態で、「右キー」または「エンターキー」を押します。
- ④右記の補正画面になります。「上下左右キー」を押すと可視画像が動きますので、熱画像と重なるようにしてください。



#### 2. 保存画像の確認・消去

画像保存したデータを本体ディスプレイで確認および消去ができます。

##### ■保存画像の確認

- ①「メニューキー」を押してメニューの一覧を表示します。
- ②「上下キー」で保存画像を選択して、「右キー」または「エンターキー」を押します。
- ③保存画像の一覧が表示されます。確認したい画像を「上下キー」で選択して「エンターキー」を押すと表示されます。
- ④「左右キー」を押すと前後に保存したデータに切り替わります。
- ⑤「エンターキー」を押すと保存画像一覧画面に、「メニューキー」を押すと測定画面に戻ります。

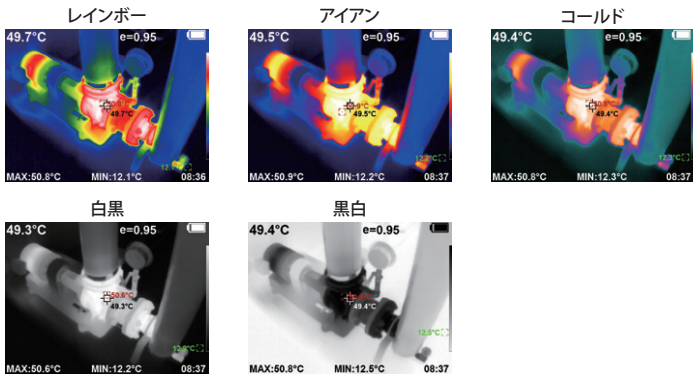
##### ■保存画像の消去

- ①上記①～④の方法で消去したい画像をディスプレイに表示させます。
- ②「上キー」を押すとディスプレイに「画像消去？ はい いいえ」と表示されます。
- ③「はい」を選択した状態で「エンターキー」を押すと、画像が消去されます。
- ④「エンターキー」を押すと保存画像一覧画面に、「メニューキー」を押すと測定画面に戻ります。

#### 3. カラーパレット

熱画像のカラー表示を5種類の中から選択できます。

- ①「メニューキー」を押してメニューの一覧を表示します。
- ②「上下キー」でカラーパレットを選択して、「右キー」または「エンターキー」を押します。
- ③カラーパレットの一覧が表示されます。レインボー／アイアン／コールド／白黒／黒白のいずれかを「上下キー」で選択して、「エンターキー」を押します。
- ④「左キー」を押すとメニュー画面に、「メニューキー」を押すと測定画面に戻ります。



## 品質保証規定

品質保証期間中に説明書に則った正しい使用状態において、万一故障が生じた場合は無償で修理します。ただし、下記事項に該当する故障・破損は無償修理の対象から除外し、有償修理となります。

1. 取扱説明書に基づかない不適当な取り扱い、または使用による故障。
2. カイセ特約サービス代理店、または当社サービス部門以外でなされた修理または改造に起因する故障。
3. お買い上げ後の輸送または落下などによって生じた故障。
4. 火災、水害、地震など天災地変によって生じた故障・破損。
5. 消耗部品（内蔵電池など）の補充または取り換え。
6. 品質保証書の提出がない場合。
7. その他、当社の責任とみなされない故障。
8. 本証明書は日本国内においてのみ有効です。

修理依頼
年 月 日
故障の症状 故障の原因(わかったら)

キリトリ

## 4. 放射率

放射率の設定を4種類のプリセットまたは任意の値に設定できます。

- ①「メニューキー」を押してメニューの一覧を表示します。
- ②「上下キー」で放射率を選択して、「右キー」または「エンターキー」を押します。
- ③放射率の一覧が表示されます。艶なし／半艶なし／半光沢／光沢／数値設定のいずれかを「上下キー」で選択して「エンターキー」を押します。
- 数値設定にした場合は、「左右キー」で桁の移動、「上下キー」で数字を変更して「エンターキー」を押します。
- ④「左キー」を押すとメニュー画面に、「メニューキー」を押すと測定画面に戻ります。

##### ■物質と放射率の目安

アスファルト	0.90～0.98	大理石	0.94	黒色ゴム	0.94
コンクリート	0.94	石膏	0.80～0.90	プラスチック	0.85～0.95
セメント	0.96	モルタル	0.89～0.91	材木	0.90
砂	0.90	レンガ	0.93～0.96	紙	0.70～0.94
地表	0.92～0.96	黒布	0.98	酸化クロム	0.81
水	0.92～0.96	人肌	0.98	酸化銅	0.78
氷	0.96～0.98	泡	0.75～0.80	酸化鉄	0.78～0.82
雪	0.83	粉炭	0.96	織物	0.90
ガラス	0.90～0.95	ペンキ	0.80～0.95		
セラミック	0.90～0.94	非光沢ペンキ	0.97		

## 5. 設定

本体の各種設定を変更・確認できます。

- ①「メニューキー」を押してメニューの一覧を表示します。
- ②「上下キー」で設定を選択して、「右キー」または「エンターキー」を押します。
- ③設定の一覧が表示されます。

#### 5-1. オートパワーオフ

本体未操作時に自動で電源をOFFにする、オートパワーオフの設定をします。

- ①設定の一覧から「オートパワーオフ」を選択して、「右キー」または「エンターキー」を押します。
- ②なし／5分／20分のいずれかを選択して「エンターキー」を押します。
- ③「左キー」を押すとメニュー画面に、「メニューキー」を押すと測定画面に戻ります。

#### 5-2. 画面明度

ディスプレイの明るさを設定をします。

- ①設定の一覧から「画面明度」を選択して、「右キー」または「エンターキー」を押します。
- ②低／中／高のいずれかを選択して「エンターキー」を押します。
- ③「左キー」を押すとメニュー画面に、「メニューキー」を押すと測定画面に戻ります。

#### 5-3. 言語

本体の表示言語を設定をします。

- ①設定の一覧から「言語」を選択して、「右キー」または「エンターキー」を押します。
- ②英語／中国語／イタリア語／ドイツ語／日本語のいずれかを選択して「エンターキー」を押します。
- ③「左キー」を押すとメニュー画面に、「メニューキー」を押すと測定画面に戻ります。

#### 5-4. 時間表示

時間表示を24時間表示／12時間表示に切り替えます。

- ①設定の一覧から「時間表示」を選択して、「右キー」または「エンターキー」を押します。
- ②24時間／12時間のどちらかを選択して「エンターキー」を押します。
- ③「左キー」を押すとメニュー画面に、「メニューキー」を押すと測定画面に戻ります。

#### 5-5. 日時設定

現在の日時を設定します。

- ①設定の一覧から「日時設定」を選択して、「右キー」または「エンターキー」を押します。
- ②年から秒を「上下キー」で選択して「エンターキー」を押します。
- ③「左右キー」で桁を移動、「上下キー」で数字を変更して「エンターキー」を押します。
- ④「左キー」を押すとメニュー画面に、「メニューキー」を押すと測定画面に戻ります。

#### 5-6. 高低温度

画面内の最高温度を示す高温点カーソルと最低温度を示す低温点カーソルの表示／非表示を切り替えます。

- ①設定の一覧から「高低温度」を選択して、「右キー」または「エンターキー」を押します。
- ②なし／ありのどちらかを選択して「エンターキー」を押します。
- ③「左キー」を押すとメニュー画面に、「メニューキー」を押すと測定画面に戻ります。

#### 5-7. 無線通信

無線通信を「あり」にすることで、PCや携帯端末のウェブブラウザ上で画像表示・画像保存、各種設定変更ができます。(通信距離:約30m)

- ①設定の一覧から「無線通信」を選択して、「右キー」または「エンターキー」を押します。
- ②なし／ありのどちらかを選択して「エンターキー」を押します。
- ③「左キー」を押すとメニュー画面に、「メニューキー」を押すと測定画面に戻ります。

#### 5-8. バージョン

本体ソフトウェアのバージョンを確認できます。

- ①設定の一覧から「バージョン」を選択して、「右キー」または「エンターキー」を押します。
  - ②「左キー」を押すとメニュー画面に、「メニューキー」を押すと測定画面に戻ります。
- ※ソフトウェアのバージョンアップはできません。

## 5-9. 認証

無線通信の技適マーク、認証番号を表示します。

- ①設定の一覧から「認証」を選択して、「右キー」または「エンターキー」を押します。
- ②技適マーク、認証番号が表示されます。
- ③「左キー」を押すとメニュー画面に、「メニューキー」を押すと測定画面に戻ります。

### 無線通信

本体をPCや携帯端末と無線通信で接続し、PCや携帯端末のウェブブラウザ上で、画像表示・画像保存、各種設定変更ができます。(通信距離:約30m)

#### 警告/注意

- 航空機内や病院では電源をお切りください。
- 本製品の無線通信の使用周波数帯は、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)、および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、およびアマチュア無線局(免許を要する無線局)が適用されています。
- ①本製品の無線通信をONにする前に、近くで上記記載のものが運用されていないことを確認してください。
- ②使用中に上記記載のものが運用された場合は、早急に無線通信をOFFにしてください。無線通信が影響を及ぼす恐れがあります。
- 本製品は、他の電波を発する機器から電波干渉を受け、本製品の通信が使用できない場合があります。他の電波を発する機器からできるだけ距離をとり、電波干渉を避けて使用してください。
- 無線通信を行う機器は、本体1台につき1つの機器にしてください。複数の機器と通信すると、正しく操作できない場合があります。
- 日本以外での無線通信機能の使用については、その国の電波管理規則に違反する恐れがありますので、当社では一切の責任を負いかねます。

#### 1. 接続方法

- ①本体の電源をONにします。
  - ②メニューから「無線通信」を「あり」にします。(P6「5-7. 無線通信」を参照)
- ※「無線通信 あり」の状態では消費電力が大きくなるため、一度電源をOFFにするとして「無線通信 なし」になります。
- ③PCや携帯端末の Wi-Fi 一覧を開き、利用可能なネットワークに「KG505 XXXX」が表示されているか確認します。
  - ※XXXXは本体シリアルナンバーの下4桁です。
  - ④「KG505 XXXX」を選択すると、本体との無線通信接続が完了します。PCや携帯端末に右記の様な通知が入った場合は、「はい」を選択して接続を維持してください。

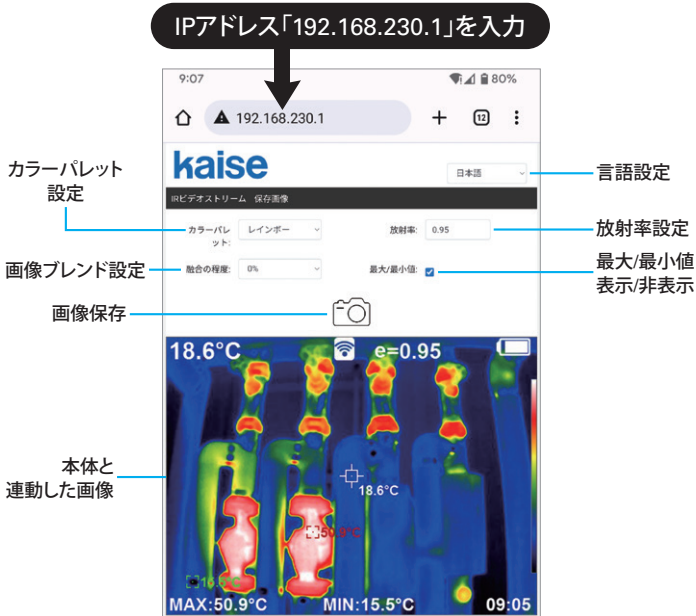


「はい」を選択

#### 2. ウェブブラウザ上での操作

- ①PCや携帯端末のウェブブラウザを起動します。
- ②ウェブブラウザのアドレスバーに、IPアドレス「192.168.230.1」を入力します。
- ③下記のように本体と連動した画像がウェブブラウザ上に表示され、画像保存や各種設定を行えます。

##### ■スマートフォンの表示例

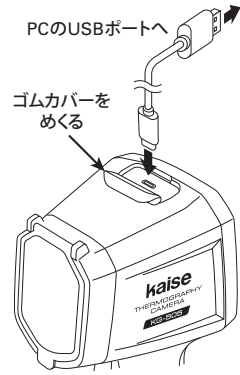


※Wi-Fi®は、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。

### PC接続

本体をPCと接続して、本体メモリーに保存した画像データをPCに移動できます。

- ①本体上部のゴムカバーを開きます。
- ②ゴムカバー内のUSB端子に付属のUSBケーブルを差し込んでPCと接続します。
- ③「電源キー」を長押しして本体の電源をONにします。
- ④PCとの接続が完了すると、大容量記憶装置デバイス(KG-505)として認識されます。接続中は本体ディスプレイの上部にが表示されます。
- 本製品がPCに認識されない場合は、他のUSBポートや市販のUSBハブを使用することで認識される場合があります。
- 認識に時間がかかる場合があります。
- ⑤認識されたデバイス内の「USBフォルダ」の中の「IMGSフォルダ」の中に画像データがありますので、PCにコピーしてください。



**注意** USBケーブルを抜く際は、PC側からUSBの取り外しを指示してから抜いてください。故障の原因となります。

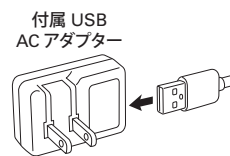
### 本体の充電

#### 警告/注意

本体を充電する際は、P1「安全上・使用上のご注意」の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してください。

バッテリー残量が減った場合は次の手順で本体を充電してください。

- ①本体のゴムカバーを開いて、USB端子に付属USBケーブルの端子を差し込みます。(PC接続と同様)
- ②もう一方の端子を付属USB ACアダプターに差し込みます。
- PCのUSBポートに接続しても充電できません。
- ③USB ACアダプターをコンセントに差し込みます。充電が開始され、本体LCDに電池マークが表示されます。
- 電源ON時に充電すると、バッテリー残量マークがになります。
- ④本体LCDの電池マークが一杯になったら充電を終了してください。



**!** 本体を充電しながら測定すると、本体内部の発熱によって測定精度から外れることがあります。

### 故障かな?という場合に

故障かな?という場合には、以下の症状、原因と処置をご参照ください。

本製品について、わからない点やご質問、故障の場合は、お買い上げの販売店またはカイセ株式会社にお問い合わせください。

症状	原因と処置
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●バッテリーが消耗している。→ 本体バッテリーの充電をしてください。</li> <li>●電源キーが5秒間以上長押しされていない。→ 5秒間以上長押ししてください。</li> </ul>
充電が開始されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●USBケーブルやUSB ACアダプターがしっかりと差し込まれていない。→ 奥までしっかりと差し込んでください。</li> </ul>
測定値が正しくない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●放射率の設定が正しくない。→ 測定対象に合った放射率に設定してください。</li> </ul>
画像保存ができない(Disk Fullと表示)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●メモリーの容量が不足している。→ 保存している画像データを削除してください。</li> </ul>

■製品の使い方や修理に関するお問い合わせ、修理品の送付先

### カイセ株式会社 製造サービス課

〒386-0156 長野県上田市市林之郷422  
TEL 0268-35-1602 / FAX 0268-35-5515  
Email : service@kaise.com

本製品は米国政府の輸出規制(EAR)により「再輸出の規制」が適用されることがあります。(ECCN : 6A002, 6A993)

### カイセ株式会社

〒386-0156 長野県上田市市林之郷422  
TEL 0268-35-1600(代) FAX 0268-35-1603